

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く(115)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(115)—

1. 始めに

前報(114)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、スピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。さらにスピーカーアキュライザーの接続をバナナプラグに置き換え、電解コンデンサーを追加し、電磁波吸収テープ NRF-005T をバナナプラグに巻いています。音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回は声楽曲です。

SCHWANN AMS714-15

モーツアルト **The Obligation of the First Commandment**
Roland Bader 指揮 Berliner Domkapelle

3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

SCHWANN 盤ということで、TELDEC、逆相、第4時定数 Mid で聴いていきました。

The Sacred Singspiel とは歌唱を伴った芝居という意味だそうで、ソプラノが3人とテノール2人の登場人物の役割を見ると宗教的な意味をもつものようです。

オーケストラはオペラの演奏のようであり、歌手もオペラのような歌唱をしています。

ステージの音場表現は広大であり、歌手の声も間接音をともなってよく響き、伸び伸びとした展開を聴かせています。

4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E、スピーカーアキュライザーなどの総合的な効果により、上記の盤の特徴がよく把握できます。

以上